

主催：神奈川県重症心身障害児者を守る会

NPO 法人 フュージョンコムかながわ

・県肢体不自由児協会

障害の重い方への スイッチ・コム支援勉強会

「障害者総合支援法」では、
障害者の意思決定の支援に配慮すること。
障害者の立場に立った支援に努めること。」

平成27年1月17日（土） 10:00～16:00（受付 9:30～）

会場：神奈川県社会福祉会館 4階 第3・4研修室

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2

講師：特定非営利活動法人 地域ケアさぼーと研究所理事 下川 和洋 様

製作講座講師：おおきなき

相澤 純一 様

【趣 旨】

障害が重い人に細やかに係って下さり有難うございます。しかし、ご本人の意思を読みとったり、確認することはとても難しいですね。また、ご本人の意思表現をどのように表わすことができるように差し上げたらよいか。介護する側の私の知識がありません。親指と人差し指とを合わせて力を入れると筋肉のゆがみを感じ（ピエゾセンサスイッチ）してナースコールができたり、視線を入力することで意思伝達のできる装置「マイトビー」があったりと、コミュニケーションを支援する機器の発展が目覚ましい限りです。「障害者総合支援法」では、「障害者の意思決定の支援に配慮すること」が整備項目に掲げられてあります。

「マイトビー」等をもって、在宅の方のところで実践されている講師から、いろいろ学びたいと思います。関心のある方は、奮ってご参加ください。

(10:00～10:10) 主催者挨拶

第1部 (10:10～12:00) 4F第1・2 研修室

講義演習「介護者の感度アップがコミュニケーションを豊かにする」

講師：下川 和洋 様

(休憩 12:00～13:00)

第2部 (13:00～15:30) 4F第1・2 研修室

演習「コミュニケーション機器を体験しよう」

①～④は会場(第3・4研修室)で全体説明終了後に自由に回って各種機器を体験してください。

体験① 視線入力意思伝達装置「マイトビー」の実演……………(株)クレアクト伊藤直弥様

体験② ビッグマック、ピエゾスイッチ等の機器の実習……………パシフィックサプライ様

体験③ iPadの操作・活用……………下川和洋様

体験④ パロとパルロボット(コミュニケーションロボット) ……かながわ福祉サービス振興会様

体験⑤ OAK(キネクト)の活用……………吉田光伸様



コミュニケーション
ロボット
「PALRO(パルロ)」



メンタルコミット
ロボット
「パロ」

※第2部の演習「コミュニケーション機器を体験」

⑥スイッチトイ製作講座「スイッチでおもちゃを動かそう」…相澤純一先生、新田和久様

⑥は定員15名の予約制(先着順)で、別途材料費500円をいただきます。内容は、作成するスイッチと玩具を選んでいただき、簡単なスイッチとアダプターを製作し(はんだ付け等の細かい作業になります)、おもちゃなどをスイッチで動かします。でき上がったスイッチ(ミニタッパースイッチ等を予定)は、お持ち帰りができます。

15名を前半(13:00~14:00)、後半(14:15~15:15)の2班編成で実施します。

会場は、2F第1・2会議室になります。色々なスイッチの展示もあります。

(15:30~15:50) 講義(まとめ)と質疑応答 4階 第3・4研修室

(16:00) 閉会

○ 定員：特にありません(ただし体験⑤のスイッチ作成は先着15名です)

参加費：資料代 無料(ただし体験⑤のスイッチ作成参加者は、材料費 500円)

※ 材料費は当日会場でお支払いください

○ 申込締切り：平成27年1月13日(火)

○ 講師紹介

<講演・実技指導> 下川和洋先生(NPO法人地域ケアさぽーと研究所)(女子栄養大学非常勤講師)
都立特別支援学校で長年、訪問教育や医療的ケアなどが必要な障害の重い子どもの教育に携わり、1999年1月に開設したホームページ「医療的ケアが必要な子どもと学校教育」は現在までに30万以上のアクセスとなり、ホームページやFacebookや研修会等で情報発信しています。また、平成24年から実施の国の「喀痰吸引等制度」の誕生に、大きな働きをされました。

現在は、特別支援学校や大学、児童発達支援事業所や生活介護事業所の非常勤、さらにNPOでは「訪問カレッジ」という事業で、通所が難しい在宅・施設で過ごす障害の重い方の生涯学習保障として、「伝の心」「オペレートナビ」「マイトビー」など各種意思伝達装置を活用したコミュニケーション支援を進めています。

<製作講座担当> 相澤純一先生(おおきなき 代表)

都立特別支援学校に長く勤められ、現在、『おもちゃと絵本の部屋』を週1回開室し、共に生きることを考えるための講座や特別支援学校卒業後の生涯学習の支援等に取り組んでいます。頂いたお手紙には、「私は、子ども達にどう向かい合っていくか、マジカルトイボックスから多くのことを学んできました。退職してからもスイッチ教材は、子どもたちの可能性を引き出す大事な道具として手放せません。制作を続けています。」と述べられています。

※この「スイッチ・コム支援勉強会」は、神奈川新聞厚生文化事業団の支援を頂いて実施します。



- ・JR横浜駅西口ダイヤモンド地下街に入り直進
- ・一番突き当たり左奥の階段を上る(南12出口)
- ・ホテルキャメロットジャパンを左手に直進

問合わせ：担当：山田、松田

NPO法人 フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会

〒. 221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2

電話：045-311-8742 Fax. 045-324-8985

Eメール：jimukyoku@kenshikyoku.jp

HP：<http://www.kenshikyoku.jp/>

フュージョンコム 宛

障害の重い方への スイッチ・コム支援勉強会 参加申込書

2015.1.17(土)

平成26・27年 月 日

申込み担当者名		連絡先電話	
---------	--	-------	--

	参加者氏名	所属	職名	製作講座申込み
1				あり、なし
2				あり、なし
3				あり、なし
4				あり、なし
5				あり、なし

FAX 045-324-8985

スイッチトイ製作講座定員は、15名（先着順）です。材料費500円です。

NPO 法人 フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会
〒. 221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2
電話：045-311-8742 Fax. 045-324-8985
Eメール：jimukyoku@kenshikyou.jp
HP：<http://www.kenshikyou.jp/>